

レビュー研究用フォーム		データ記入欄		
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫		
	タイプ			
タイトル情報	論文の英語タイトル	Metastasectomy in malignant melanoma.		
	論文の日本語タイトル			
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)		
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17- 5		
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)		
	Pubmed ID			
	医中誌 ID			
	雑誌名	Surgery.		
	雑誌 ID			
	巻	115		
	号	3		
	ページ	295-302		
	ISSN ナンバー	0039-6060 (Print)		
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)		
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)		
	発行年月	1994		
	著者情報		氏名	所属機関
		筆頭著者	Karakousis CP	Department of Surgical Oncology, Roswell Park Cancer Institute, Buffalo, NY
その他著者 1		Velez A		
その他著者 2		Driscoll DL		
その他著者 3		Takita H.		
その他著者 4				
その他著者 5				
その他著者 6				
その他著者 7				
その他著者 8				
その他著者 9				
その他著者 10				

レビュー研究の6項目	目的	遠隔転移切除後の予後に関わる因子を明らかにする
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	遠隔転移切除 140 例 全切除患者の、生存期間中央値 19 月、5 年生存率 22%、遠隔皮下転移の 5 年生存率 33%、遠隔リンパ節転移 22%、肺転移 14%だった。予後因子は、原発巣が薄い、遠隔転移巣の数、遠隔転移出現前の無病期間だった。
	結論	遠隔転移巣の切除は症例を選べば、他の治療よりも高い 5 年生存率が得られる。
レビューワーコメント	備考	
	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（ IV ） 遠隔転移を切除するための条件を明らかにした論文である。